



厳しい寒さの中でも、元気いっぱいな子どもたち。気温が低くまだまだ空気が乾燥する時期が続きます。かぜやウイルスを寄せ付けないしょうぶな体作り、環境作りに気を配り、寒い冬を元気に乗り切りましょう。また神栖市内においてコロナウイルス感染者数の増加がみられ、「まん延防止等重点措置」の地域に指定されています。園内での感染症対策を徹底するとともに、健康状態の観察をしっかりと行っていきたいと思います。

## ● コンコンッ！ 咳のかぜ、引いていませんか？ ●

寒さが深まり、あちこちから咳が聞こえてきます。乾燥が原因の咳もありますが、ウイルス性のものは飛沫感染によって広がっていきます。咳エチケットを守り、咳が出ている時はマスクを着用しましょう。

### おうちでのケア



洗濯物を干したり、加湿器をつけたりして、湿度を調節し、喉を潤しましょう。



咳がひどい時は、背中の下に枕やクッションを置くなどして上半身を高くしましょう。



麦茶や白湯など、刺激のない飲み物で水分補給をこまめに行いましょう。

## ● 室温管理・換気 ●

部屋の中を温めすぎると、空気が乾燥し、具合の悪くなる子が出てきます。設定温度は18～20℃を目安に、なるべく足元を中心に温め、上半身は温め過ぎないようにしましょう。また、1時間に1回は窓を開けて空気の入替えを行い、加湿器などで部屋の湿度を保ちましょう。加湿器がなくても、室内に洗濯物を干したり、コップ一杯の水を暖房器具の近くに置いたりすることで、部屋が乾燥しにくくなります。



## 背すじぴん！で 元気！

寒いとつい背中を丸めてしまいますね。でもそれでは、心臓や胃、腸などが活発に働いてくれません。また、乳幼児期は背骨や、背骨を支える筋肉が発達する大切な時期。強い骨と筋肉を作るためにも、よい姿勢で過ごすことを心がけましょう。背すじぴん！は気持ちいいばかりでなく、健康にもよい影響を与えるのです。

